

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立岡山一宮高等学校		
実践者等	末廣弘毅	実践日	令和3年11月4日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	理科（化学基礎）		
対象生徒（学年等）	2年文系		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)	酸・塩基と中和		
使用したアプリ等	Classroom、Jambord、Forms		
実践の概要（ねらい等）	ジグソー法による課題への取組みとして、ジグソー活動をJambordを用いて行う。		
実践の内容			
1. 水酸化ナトリウムは二酸化炭素を吸収し一部が炭酸ナトリウムとなることを確認する 2. エキスパート活動の資料を配布。担当のグループで情報の確認を行う。 A：炭酸ナトリウムと塩酸の中和反応 B：水酸化ナトリウムと炭酸ナトリウムの混合物と塩酸の中和 C：物質量〔mol〕、濃度〔mol/L〕、体積の関係 3. 元のグループへ戻り、持ち帰った情報を共有する。 4. 本時の問いを配布。 「水酸化ナトリウム中の不純物としての炭酸ナトリウムの量はどのように求めるか。」 問いを解決するために、ジグソー活動 メインの問い 動を行う。 課題を解決するための方法を付箋にしてJamboardに貼り付ける。 他の班のJamboardも参考にする。 5. 振り返りの問題に一人で取り組む。 6. 振り返りシートの記入。(Forms)			
参考となる HP 等	知識構成型ジグソー法 東京大学 CoREF https://coref.u-tokyo.ac.jp/archives/5515		

メインの問い

炭酸ナトリウムを不純物として含む濃度未知の水酸化ナトリウム溶液を20mLとり、1.0mol/Lの塩酸を滴下したところ、図の中和滴定曲線が得られた。この混合水溶液20mL中に含まれていた水酸化ナトリウムおよび炭酸ナトリウムは、それぞれ何molか。

